

文部科学省私立大学戦略的基盤研究形成支援事業

「新規分子標的治療薬創薬に向けた大学発ベンチャー基盤の確立」キックオフシンポジウム報告書

日時：平成27年9月25日（金）13：30～17：30

場所：京都薬科大学 愛学ホール

参加者数：143名（職員 31名、学部生・大学院生 112名）

本キックオフシンポジウムは、今年度文部科学省私立大学戦略的基盤研究形成支援事業に採択された「新規分子標的治療薬創薬に向けた大学発ベンチャー基盤の確立」課題の遂行にあたり、参画する全ての研究者の意識の統一を図るとともに、各研究者の連携による新たな共同研究体制構築の契機とすることを目的として企画された。本プロジェクトでは、本学が独自に開発してきた疾患関連評価系と創薬研究基盤を有機的に融合させることにより、超高齢化社会における健康長寿生活の実現に貢献できる“大学発創薬ベンチャー”基盤を確立することを旨とする。具体的には、対象疾患として悪性腫瘍と認知症に焦点を絞り新たな創薬・予防薬シーズを発掘し、得られたシーズの学術的評価に臨床評価を加味することでシーズのライセンスアウトをめざした産学連携プラットフォームを構築し、“山科から世界に”新規分子標的治療薬を発信する。また同時に、創薬開発研究を通じて新たな“知の創造”をめざし、わが国の将来の薬学研究を牽引する次世代の基礎ならびに臨床薬学研究者の育成をめざす。



開会に際して、後藤直正副学長から本プロジェクトの意義や本プロジェクトへの期待を開会の辞としてご挨拶いただいた。引き続き、本プロジェクトの研究代表者である芦原が、本プロジェクトのイントロダクションとして将来におけるアカデミアでの創薬研究のあり方ならびに「本プロジェクトでめざすもの」について講演を行った。次に研究シーズの紹介と今後の研究計画について、研究グループ（シーズ発掘・バリデーショングループおよび



合成・相互作用解析グループ) 研究参加者が講演を行い、それぞれが所有する興味深いシーズを確認した。さらに、本プロジェクト学外共同研究者として参画いただいている佐賀大学 木村晋也教授、近畿大学 藤田 貢准教授にご講演をいただいた。木村先生には創薬から臨床研究に展開されたご自身の分子標的治療薬研究をお話いただき、また藤田先生には自発発症型脳腫瘍モデルマウスを用いた免疫療法開発研究を中心としたトランスレーショナルリサーチについてご紹介いただいた。いずれの発表においても、学生、教員から多くの質問があり、活発な議論がなされた。最後に合成・相互作用解析グループリーダーの赤路が本プロジェクトの目指すべき方向性を確認し閉会の辞とした。



本シンポジウム終了後、小会議を持ちさらに議論を深めた。既に発掘されたヒット化合物を基に構造活性相関研究を開始している共同研究もあり、各グループ間で早期に共同研究体制が構築されることが期待された。最後に本プロジェクトの基本方針を再度確認し、小会議を終了した。今後も定期的に進捗会議をもち、分子標的治療薬候補化合物の創製を目指すとともに、新たな“知の創造”に向けた本プロジェクトを遂行していく。



文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

# 新規分子標的治療薬創薬に向けた 大学発ベンチャー基盤の確立 キックオフシンポジウム

日時: 2015年9月25日(金) 13:30~17:30  
会場: 京都薬科大学 愛学ホール(A31講義室)  
参加方法: 直接会場にお越しください(入場無料)

- 13:30 ~ 13:35 **開会挨拶**  
後藤 直正 (京都薬科大学・副学長)
- 13:35 ~ 13:45 **プロジェクトの概要について**  
研究代表者: 芦原 英司 (シーズ発掘・バリデーショングループリーダー)
- 13:45 ~ 14:30 **一般講演(1)「候補化合物のデザイン・合成と蛋白質相互作用解析」**  
小林 数也 (薬品化学分野・助教) 小島 直人 (薬品製造学分野・講師)  
中村 誠宏 (生薬学分野・准教授)
- 14:30 ~ 15:20 **特別講演(1)「自発発生型脳腫瘍動物実験モデルが導く  
トランスレーショナルリサーチの展望」**  
藤田 貢 (近畿大学・医学部・准教授)
- 15:35 ~ 16:35 **一般講演(2)「新規治療・予防標的分子の探索と病態解析」**  
久家 貴寿 (生化学分野・助教) 賀川 裕貴 (細胞生物学分野・助教)  
鬼頭 宏彰 (薬理学分野・助教) 中田 晋 (臨床腫瘍学分野・准教授)
- 16:35 ~ 17:25 **特別講演(2)「分子標的薬を創る・使う・止める」**  
木村 晋也 (佐賀大学・医学部・教授)
- 17:25 ~ 17:30 **閉会挨拶**  
赤路 健一 (合成・相互作用解析グループリーダー)

本研究プロジェクトは、本学が独自に開発してきた疾患関連評価系と創薬研究基盤を有機的に融合させ、「大学発の創薬ベンチャー」基盤を確立することを目的としています。悪性腫瘍と認知症に焦点を絞り新たな創薬シーズを発掘し、シーズのライセンスアウトを目指します。さらに創薬研究を通して新たな「知の創造」も目指し、次世代の基礎ならびに臨床薬学研究者を育成するプロジェクトです。

☞ 学部生・大学院生・教職員どなたでもご自由に参加ください。

連絡先: 〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5  
京都薬科大学 病態生理学分野  
芦原 英司 (研究代表者)  
TEL: 075-595-4706 E-mail: bunshihyoteki@mb.kyoto-phu.ac.jp

薬学の未来をつくる  
 **京都薬科大学**  
Kyoto Pharmaceutical University

文責: 芦原英司 (研究代表者)